※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　現代の国語（第一学習社）						
副教材等	新改訂「最新国語便覧」（浜島書店） 「漢字とことば　常用漢字ワイドアルファ〈漢字検定７級～２級〉」改訂版（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文章を的確に読みとる力や、適切に表現する力を身に付ける授業です。分からない言葉の意味や漢字が出て来た場合には、辞書などを使用し自分で調べる習慣をつけてください。
・国語について興味を持って参加してください。すすんで読書をしたり、ニュースを見たり、新聞を読んだりして世の中の出来事に興味を持ち、視野を広くもつ練習をしてください。
・現代の社会問題についても学習します。自分の意見を持つようにしてください。
・日本漢字能力検定７級から２級までの漢字を学習します。小テストも実施しますので、日ごろから継続して学習に取り組んでください。
・提出物の期限は必ず守ってください。提出遅延のないように、計画的に課題をこなしてください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）自分の進路を見据え、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し正しい知識や技能を身に付け、適切につかっている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者に関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	各編番号	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	理解編1	筆者の提案する人間の生き方について文章構成をもとに把握し自分に照らして考えを深める。 ［教材］ 「生きもの」として生きる	a：文章の構成の特徴を理解するとともに、使いこなせる語句の数を増やし、文章の作成に活用することができる。 b[読]：文章の種類をふまえて、構成、論理の展開を的確にとらえ、内容を正確に把握できる。 c：文章を読んで筆者の意図を読み取り、今後の学習と自分の生き方について考え、その考えを発揮しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察
	理解編2	特徴について論じる叙述の方法を理解し、的確に要旨を読み取る。 ［教材］ 水の東西	a：論理的な文章の構造を正しく理解し、使える言葉の数を増やしている。 b[読]：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 c：論理的な文章を読むことに関心を持ち、内容や展開を正確に読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察
	論理分析	文章を分析的に読み取り、対比構造を用いた論理展開について理解する。 ［教材］ 「間」の感覚	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や情報の関係性などを把握している。 b[書]：主張や論拠、個別と一般化など事柄が的確に伝わるように文章の表現の仕方を工夫している。 c：論理的な文章の表現方法に関心を持ち、相手に伝えたいことを伝わりやすいように整理しようとしている。	ワークシート	ワークシート 行動の観察	ワークシート 行動の観察
	表現編	相手・目的・場面に応じた言葉遣いや、論理的に表現する方法を理解する。 ［教材］ 話し方の工夫 待遇表現 論理的な表現	a：話し言葉と書き言葉、敬語表現を適切に理解し、説得力を意識した表現の仕方についても理解している。 b[話/聞]：伝わりやすい表現を考え、課題に沿って説明や発表を行っている。また、主張と根拠と理由づけの関係性に沿って話し合っている。 c：積極的に場面に応じた言葉遣いを使い分けて使用しようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	ワークシート グループディスカッション 行動の観察
二学期	理解編3	科学と技術の違いを対比的に整理し、現在の科学と技術の関係を理解する。 ［教材］ 「文化」としての科学	a：文章の効果的な接続の仕方や情報の相互関係について理解している。 b[書]：科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを実社会と重ねて論述することができる。 c：文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察
	理解編4	筆者が提起する情報に関する課題を理解し、情報社会に生きる者として問題意識を持つ。 ［教材］ 現代の「世論操作」	a：読書の意義と効用を理解し、語句の量や語彙を豊かにしている。 b[読]：情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、情報社会に生きる者として問題意識を持つことができている。 c：現代社会の問題に目を向け、自分の考えを構築しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察
	論理分析	推論について学び、演繹法と帰納法について理解する。 ［教材］ AI は哲学できるか	a:文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解している。 b[書]:帰納法で推論する文章からその方法を学び、AI を導入する社会について今後のことを考え論述することができる。 c:推論に関する文章表現を理解し、「AI」分野に関心を持とうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察	ワークシート 行動の観察

※令和４年度以降入学生用

学期	各編番号	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
二学期	表現編	情報リテラシーを理解し、情報社会に生きる者の意識を持つ。 ［教材］ 情報の探索と選択 情報源の明示 合意形成のための話し合いを行う	a：情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解し、引用の目的とその効用もあわせて理解する。 b[話/聞]：情報の探索と選択を実践し、その上で論点を共有し考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践している。 c：情報を吟味し内容にあった情報を探そうとし、意欲的にそして効果的に話し合いを進めようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	ワークシート グループディスカッション 行動の観察
三学期	理解編5	具体例と一般化、対比構造を手掛かりに近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ［教材］ 不均等な時間	a：論理的な文章の構造を正しく理解し、情報の相互関係から要旨を把握している。 b[読]：近代における時間に関する文章から実社会の問題に気づけ、その問題に対して考えることができている。 c：今までの論評と読み比べ、持続可能な社会の実現に向けて自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察
	理解編6	労働問題に関わる資料から持続可能な社会に向けて自分の意見を構築する。 ［教材］ 日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	a：文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈する方法を理解し、内容の吟味を行える。 b[書]：労働問題を通して今の社会に対する自分の考えや事柄が的確に伝えられている。 c： 複数の情報をまとめ、持続可能な社会の実現に向けて自分の意見を出すことができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察	ワークシート 行動の観察
	表現編	意見文の書き方を理解し、社会と自分の未来の関係性に目を向ける。 ［教材］ 書き方の基礎レッスン 社会に対する意見文を書く	a：表記や表現の基礎的なルールを理解し、意見文として自分の考えを書くことができる。 b[話/聞]：自らの意見を伝わりやすい表現を使って書き、他の意見と照らし合わせ自分の考えを深められる。 c：書いて意見文をもとに積極的に批評しあい、社会と自分の未来について考えようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	ワークシート グループディスカッション 行動の観察

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間